

目標③　地域活性化

探究活動を通して新たな価値を創造する人材

目標②　コンソーシアム創設

高校を中心とした地域コミュニティー

近隣大学等

山北町立小学校等

＜手立て＞

＜手立て＞

・教科横断的な授業展開

・動画配信ソフトを継続活用

・山北SDGs作戦計画によるカリキュラムマネジメント

・高齢者を対象とした高校生によるICT講習会

・加齢や健康による地域連携

・学校設定教科「あしがら」

・学校設定科目「山北」「地域防災」「未病」

・民泊を伴うフィールドワーク

・仮想会議室で意見交換

山北高校

地元企業

**あしがら未来コンソーシアム**

＜現状分析＞

・地域の歴史、文化などを知っている生徒が少ない

・地元地域の課題や活性化に興味のある若者が少ない

・交通が不便で地域の中で若者を引き付ける魅力が目立たない

・都市部への憧れが強く、若者の地元定着率が低いため、人口減少につながっている

**地域郷土に愛着を持ち、様々な地域課題に向けて行動を起こすことができる人材育成**

**地域に住み、地域の中で活躍できる人材育成**

**研究開発の目的**

目標①　カリキュラム開発

地域課題について地域と協働で探究活動

自己肯定感が醸成されるとともに地域への愛着が生まれ、地域へのUターンを含めた定住化が促進される

**仮　説**

第３学年「探究を通じて地域創生への提言」

～新たな価値の創出～

・地元自治体への提言を目標に解決策の検討と意見交換

・解決策のまとめ、コンソーシアムでの発表

・地元自治体への提言

第２学年「地域課題解決に向けた諸対策」

～コンソーシアムを活用する～

・仮説の設定と解決策の創造

・解決における予算、スケジュール等の策定

・仮説の検証

第１学年「地域が抱える諸問題」

～フィールドワークを通して～

・山北町の歴史、環境、地勢について

・情報の整理・分析、町が抱える課題について

・探求する課題についてSDGs及び地域への価値を考える

山北町

総合型地域スポーツクラブ

神奈川県教育委員会指定

「総合的な探究の時間」教育課程研究開発校

～SDGsをテーマとした展開に係る研究～